

マーケットの動き（2026年7月27日～7月31日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週前半は、中東情勢を巡る過度な懸念が後退したことが支えとなった一方、半導体株の下落を受けて上値の重い展開となりました。その後、中東情勢の緊張再燃や金融政策の先行きに対する不透明感から、株価は一時下落しましたが、週末にかけては、米大手ハイテク企業の決算を受けてAI投資の収益性への懸念が後退し、ハイテク株を中心に買い戻しが進みました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し（2026年7月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、AI関連銘柄を中心に全般的に高い増益率を維持するとみています。米国株式相場は、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測が重しになるとみられますが、景気が比較的底堅く推移する中、企業業績が良好なこともあり、底堅い展開が続くとみています。欧州株式相場は、ECB（欧州中央銀行）による追加の利上げ観測が重しとみられますが、域内諸国の財政拡張政策に支えられ、底堅く推移するとみています。

	7月31日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	7,489.72	1.05%	▲0.13%	7.94%	18.15%
NYダウ	52,485.03	1.04%	0.32%	7.35%	18.93%

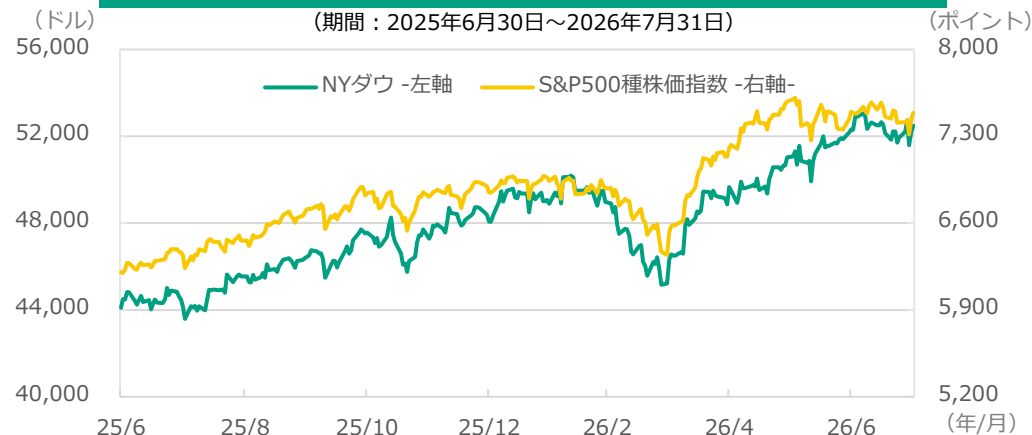
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

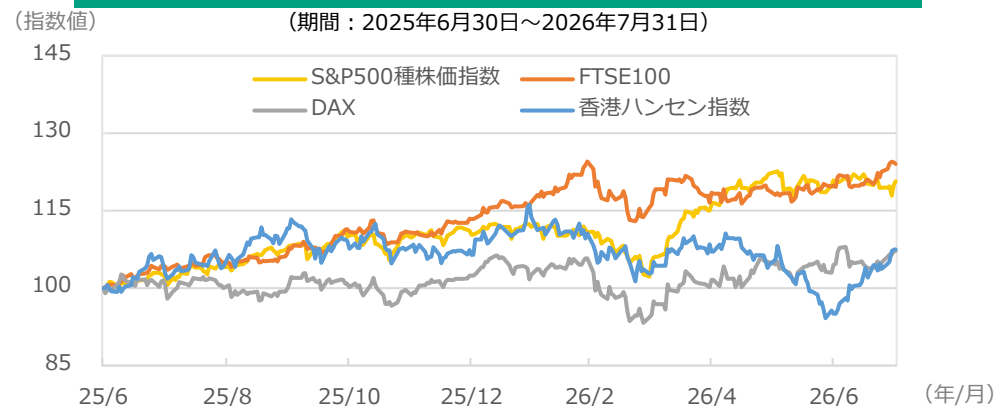
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202607_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成